

文化心理学Ⅱ

科目ナンバリング SOP-102
選択 2単位

大川 清丈

1. 授業の概要(ねらい)

文化心理学の各論として、近現代日本の教養主義への理解を深める。
また、矢内原忠雄(1893-1961)に焦点をあてながら、教養思想について学ぶ。

2. 授業の到達目標

- ①教養主義の特徴について説明できる。
- ②近現代日本文化の特徴について説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業中のリアクション・ペーパー(30%)、小テスト(20%)、期末試験(50%)による。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

参考文献

参考文献は使用しない。

5. 準備学修の内容

授業内容に関連する文献等を自主学習すること。
わからない専門用語の意味を自分で調べること。

6. その他履修上の注意事項

文化心理学Ⅰと併せて履修することが望ましいが、文化心理学Ⅱのみの受講も可能である。
授業中に配布したプリントはファイルしておくこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 教養主義とは？
- 【第3回】 近代日本の教養主義
- 【第4回】 教養論の系譜(1)新渡戸稲造
- 【第5回】 教養論の系譜(2)河合榮治郎
- 【第6回】 教養論の系譜(3)東京大学教養学部教養学科の出版
- 【第7回】 教養論の系譜(4)東京大学教養学部教養学科の展開
- 【第8回】 まとめと小テスト
- 【第9回】 矢内原忠雄の教養思想(1)経歴
- 【第10回】 矢内原忠雄の教養思想(2)植民政策学者
- 【第11回】 矢内原忠雄の教養思想(3)キリスト者
- 【第12回】 矢内原忠雄の教養思想(4)矢内原事件
- 【第13回】 矢内原忠雄の教養思想(5)初代教養学部長
- 【第14回】 矢内原忠雄の教養思想(6)東京大学総長
- 【第15回】 まとめと試験